



# コーポレート・ガバナンス 実践講座

2021年2月11日(木)~13日(土)

主催: 桜美林大学 総合研究機構 ビジネス科学研究所

# コーポレート・ガバナンス実践講座

現在、株式会社企業の健全な経営に向けてコーポレート・ガバナンスの実践が強く求められ、会社法は経営の管理・監督のための仕組みを様々に設けています。その一方で、企業の「不祥事」が後を絶たず、その理由が法令のあるのか運用にあるのかが様々な角度から議論され、社外取締役や取締役会事務局などのスタッフの方々は、コーポレート・ガバナンスに有用な実践を重ねています。このような中で、持続的発展に向けた経営の健全化のために、コーポレート・ガバナンスの実践として何をすべきかを検討する際に、この問題に関する基礎知識や情報が有用だと考えます。

そこで本学は、経営学の研究と教育を通して得た成果を、経営の実践に役立つよう実務家の皆様に提供することとし、まずはコーポレート・ガバナンスについて学術と実務の両面から、以下のような主要な課題について紹介する公開講座(無料)を実施することといたしました。

受講は、企業関係者だけでなく、法律や会計の専門職や学生の参加も歓迎いたします。なお、実施は感染症対策の関係でオンラインといたします。

申込方法)

QRコードまたは

下記URLよりお申し込みください

<https://bit.ly/2LnTDrl>

※2月5日締切



## 【スケジュール】

### 2月11日(木曜日／建国記念日)

13:10～13:40 坂本恒夫先生  
「経営学からみたコーポレート・ガバナンス」



13:50～14:20 伊藤真先生  
「企業コンプライアンスの紹介」



14:30～15:00 澁谷展由先生  
「コーポレート・ガバナンス実践の課題」



### 2月12日(金曜日)

19:10～19:40 馬越恵美子先生  
「取締役会のダイバーシティ」



19:50～20:20 片倉直先生  
「取締役会事務局の役割」



20:30～21:00 太田勝造先生  
「公益通報者保護制度の概要」



### 2月13日(土曜日)

13:10～13:40 富永誠一先生  
「独立社外取締役の役割と現状」



13:50～14:20 阿部直彦先生  
「報酬委員会の役割」



14:30～15:00 馬橋隆紀先生  
「社外取締役の法的な課題」



# 講師紹介

## ●坂本 恒夫(明治大学名誉教授、桜美林大学特別招聘教授、公益財団法人大原記念労働科学研究所所長)

中央大学商学部卒業。明治大学大学院博士課程修了（経営学博士取得）。  
1991年明治大学経営学部教授。日本中小企業・ベンチャービジネスコンソーシアム会長。  
日本経営財務研究学会、日本経営分析学会、証券経済学会のそれぞれ元会長。

## ●伊藤 真(弁護士、伊藤塾 塾長、桜美林大学 特別招聘教授)

東京大学法学部卒業後、司法研修所に入所、修了と同時に弁護士登録を行う。  
司法試験の受験指導を行う中で「伊藤真の司法試験塾（現 伊藤塾）」を設立し、  
塾での講義の他、全国各地で講演活動を実施している。  
法学館憲法研究所、法学館法律事務所をそれぞれ設立し、所長を務めている。

## ●澁谷 展由(弁護士／第二東京弁護士会)

弁護士法人琴平綜合法律事務所パートナー弁護士。應義塾大学法学部法律学科卒業、  
同大学院法学研究科修士課程修了、明治大学法科大学院修了、2007年弁護士登録。  
2020年司法試験予備試験考査委員（商法担当）就任。会社法、コーポレートガバナンス、企業法務全般を専門とする。

## ●馬越 恵美子(桜美林大学 副学長・教授（国際経営）、アクサ・ホールディングス・ジャパン（株）取締役・監査委員、異文化経営学会会長)

国際経営学者。上智大学外国語学部フランス語学科卒業。  
在学中に、フランス・アンジェ・カトリック大学及びソルボンヌ大学に留学。慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程満期退学。博士（学術）（東亜大学）。専門は、国際経営学・異文化経営論・ダイバーシティ経営。

## ●片倉 直(横河電機株式会社 取締役会室 室長)

横河電機株式会社入社後、財務部、経理部、営業統括本部、経営企画部などの所属を経て、現在取締役会直結の組織である取締役会室の室長に任ぜられている。

## ●太田勝造(明治大学法学部教授)

東京大学法学部卒業後、同大学院法学政治学研究科民刑事法専攻修士課程修了。  
名古屋大学法学部助教授、東京大学大学院法学政治学研究科助教授、同教授（その間ミシガン大学ロースクール客員教授等）を務め、2020年より明治大学法学部教授。専門分野は法社会学・紛争解決論・法と経済学・民事訴訟法などで、近著に『A I時代の法学入門』（弘文堂、2020年）など他多数。

## ●富永 誠一(特定非営利活動法人 日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク 執行理事・事務局長)

大学院（工学研究科）修了後、エンジニアとして10年余り働いていた通信会社が外資系に買収されることを契機に、コーポレート・ガバナンスに関心を持つ。  
ビジネススクールでは「コーポレート・ガバナンス」とそこで重要な役割を果たす「社外取締役」の研究を行う。前身団体である「全国社外取締役ネットワーク（社外ネット）」の設立に関わって以来、事務局長を務めている。

## ●阿部 直彦(ペイ・ガバナンス日本株式会社マネージングパートナー、桜美林大学大学院 客員教授)

慶應義塾大学商学部卒業ののち、米国KPMG（ロサンゼルス）日系企業部ディレクター、  
タワーズペリン（現タワーズワトソン）のロサンゼルス（コンサルタント）等を経て東京支店代表を務める。2013年11月にペイ・ガバナンス日本株式会社を設立し、大手グローバル日本企業等の報酬委員会へ経営者報酬に関するアドバイスを提供している。

## ●馬橋 隆紀(弁護士、桜美林大学 特別招聘教授)

埼玉弁護士会会長、日本弁護士連合会理事や埼玉県労働委員会会長、埼玉県人事委員会委員長などを歴任。  
現在は川口市個人情報保護審査会会長を務めている。